

対島中学校 第2回学校運営協議会会議録

1 日 時 令和6年10月24日(木) 午後1時00分～午後3時40分

2 場 所 伊東市立対島中学校図書室

3 出席者 宮川 正生(八幡野区長) 高橋 義典(池区長)
日吉 基史(学識者) 和田 元気(地域住民)
佐藤 功次郎(地域住民) 田畑 朝恵(コーディネーター)
佐藤 周(P T A会長) 佐藤あん奈(家庭教育委員長)
荒井 威雄(校長)

4 事務局 木村 誠(教頭) 井戸 寛(教務主任)

5 会議の経過

(1) 開会通告(佐藤周副会長)

(2) 校長挨拶

今朝、生徒会任命式を行い、その場で新生徒会の生徒会目標が、「協(かなう)～全力、努力、協力～」と発表された。新生徒会長は決意表明の中で、「対島中を活気のある学校にしたい。活気のある学校とは笑顔とポジティブな言葉があふれる学校である。そのために、掲示物の充実、清掃活動の充実、学習環境の整備など、環境面を整えたい」と語った。生徒会長の思いは委員会活動につながっている。掲示物は広報委員会、清掃は環境委員会、学習環境は学習委員会の活動で充実させることができる。これからの委員会活動に期待している。

(3) 議事

ここから議事進行を和田会長が行う。

和田委員：協議事項、令和6年度学校運営について

校 長：今年度は学校運営協議会を3回計画しており、今回は中間評価として皆様のご意見をいただき、今後の学校運営にいかしていきたい。

生徒には自分、仲間、学校のよさを実感し、自分たちで自分たちの生活をよくして欲しいと思っている。グランドデザインにもあるように、今年度は授業と自治を2本柱としている。またそれを支える要素として、地域連携、豊かな心、健康な体などがあるが、特に豊かな心にある、自己指導能力の育成を重視している。自己指導能力とは自分で考え、判断し、最適な行動をとる能力である。その視点として、自己存在感、共感的な人間関係、自己決定、安心・安全の4つを大切にしている。

「授業で迫る」の手立てとして、現在教員同士で授業を見合う会を行っている。今日も授業を公開した教員がおり、自分も参観してきた。教員一人一人が自己目標を立て、その達成のために授業を改善している。私たち教員が授業改善を続けることにより、自分から学びに向かう生徒を育てたい。

自治的活動は、生徒に任せきりではできない。時と場に応じて、生徒に教えたり、生徒を褒めたり、生徒の活動を見守ったりして、自治力を伸ばしている。また自治的活動の成果を掲示物などで見える化し、実感できるようにしている。第3ステージの目標は考動であった。先日行われた対中祭体育の部に向けた活動では、当初は生徒は受け身であった。また教員の指導も十分とは言えなかった。しかし本番が近づくにつれ、生徒も教員も考動し、大変立派な体育の部を実施することができた。また環境委員会がロッカー1グランプリを2回実施したが、委員長が高い目標をもって行ったため、1回目よりも2回目により素晴らしいグランプリとなった。

地域の人材活用として、引き続き生け花を行っており、諸経費はPTAから捻出していただいている。総合的な学習では、田畑、畑田両コーディネーターのお力添えがあり、多数の講師の方に協力いただくことになっている。図書整備ボランティアにはこれまで3回来校し、協力いただいている。

学校は今週から第4ステージとなり、後期となった。現在、大きな問題行動などはないが、学校生活のベースづくりはしっかり行いたい。教職員には凡事徹底と率先垂範を繰り返し伝え、生徒が落ち着いて学校生活を送れるようにしていきたい。

教 頭：教員を対象に行った1学期末学校評価アンケートからは、「時を守り」と「場を清め」に関する項目は、おおむね良好という結果が出ているが、「礼を正す」に関する項目は、課題とする項目である。また、小中連携を意識した活動、ICTの活用、地域と連携した活動については、評価が低いので、さらなる向上を目指していく。

保護者を対象に行った1学期末学校評価アンケートでは、生徒会活動により評価がついている。学校としては前年踏襲をよしとせず、毎年生徒が活動内容を考えているので、よい評価を得たと考えている。一方で宿題以外の家庭学習の実施や地域行事への積極的な参加には課題が残る。家庭学習については、今週からドリルパークを実施したので、積極的に活用していくよう促したい。

和田委員：それでは感想、質問などを順番にお願いします。

委員：校内を歩いていると、壁などが傷んでいる様に思えた。何か手伝えることがあれば協力したい。

委員：各クラスの授業を参観したが、生徒の様子もよく、授業も楽しそうであった。校外で生徒を見かけた時に、言動の乱れが気になることがある。言動はどこで

も大事なので、学校でも指導してほしい。

委員：生徒は授業を一生懸命受けており、どのクラスでも生徒と教師が学び合っている様子が伺えた。掲示物もとても工夫されており、綺麗であった。体育の部や文化の部を参観したが、学年が上がるにつれてレベルアップしており、下級生が上級生にあこがれる様子を感じた。また当日、教員が厳しく指導することもなくよかった。PTAで平日にも奉仕作業をしていただいております、大変ありがたい。

体育の部の案内に時間が明記していなかったのも、来賓にうまく時間が伝わっていなかった。また生徒の学校評価の結果も知りたかった。地域行事への参加はどの行事で評価するのかを教えてください。

校長：体育の部の案内については、来年度改善する。1学期末では生徒が参加する地域行事がほとんどない。1学期の評価項目に入れるかどうかは今後検討する。

教頭：今回は生徒用学校評価の結果も提示する。

委員：ランドデザインに目標と目標達成のための手立てが具体的に示されており、よい。

生徒の学校評価と教員の学校評価の結果を比べ、ギャップがないかを確認してほしい。施設面で気になる場所がいくつもあった。トイレの戸を開けると、奥まで見通せるので、せめて入り口にカーテンをして、目隠しにできないか。地域行事への参加について、そもそも行事がないのか、生徒に行事があることを伝えていないのか、生徒に伝えても生徒が参加しないのか、どうなっているかを知りたい。

校長：施設面については直したいところが多く、優先順位の高いものから市に要望をあげている。市の予算も限られていることから、壁など目に見えるところまで手が回らない。地域行事については、生徒に参加してほしいという思いはあり、防災訓練の日は午前中部活を行わないなどの対応はとっている。しかしアナウンスは不十分であったので、今後行っていきたい。

委員：八幡野地区では地域行事として神社清掃、海岸清掃、しゃぎりがある。しゃぎりは中学生になると参加なくなり、祭りへの関わりが疎遠になる。習い事や部活動があると思うが、中学生にも参加してほしい。他校では学校便りなどをWEBで配信しているという話も聞く。便利で、保護者に確実に届くというよさはあるが、子ども（生徒）が親に便りを渡すという行為も家庭の中では大切なことだと思う。先生同士で授業を見合い、研修を深めることはよい。

委員：タブレットを使って直接先生に質問できないか。学校で質問できればよいが、

自分から質問に行けない生徒もいるという声が保護者同士の話で聞く。また放課後、教室を開放し、自習したり先生に質問したりできないか。PTA奉仕作業の出欠については、メール配信などの方が参加者が増えるのではないかな。

校長：タブレットで教員と直接やりとりする機能は、今配付されているタブレットについていない。また放課後は部活動の指導があるので、生徒の質問を受けつけることは難しい。地域の方の力を借りれば、そのような取り組みもできるかも知れないが、今すぐ実施できることではない。

委員：八幡野地区は保護者の送迎で学校に来る生徒が多くいる。そのような生徒が、親の仕事が終わるまで居場所がないという話は聞く。コミセンで待っている生徒もいるが、コミセンは騒いでいると注意されるので、いられない。学校に限らず地域も巻き込んで、この問題を考えていく必要がある。

委員：どの授業も楽しそうであった。生徒に笑顔が多く、雰囲気が良い。2年生の技術で行っている栽培は、置く場所を自由でよいとされており、生徒が考えてよいことになっている。とてもおもしろいと思った。意見が言えない、質問ができないという生徒を助ける手立ても考えてほしい。

事務局：次回は1月17日（金）です。また通知をします。

（4）閉会通告（佐藤周副会長）